



## 2022年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年6月11日

上場会社名 オース株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9637 URL <https://www.osgroup.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 高橋 秀一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 矢崎 秀成 (TEL) 06-6361-3554  
 四半期報告書提出予定日 2021年6月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年1月期第1四半期の連結業績(2021年2月1日~2021年4月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第1四半期	1,347	14.2	26	—	10	—	6	—
2021年1月期第1四半期	1,180	△46.1	△15	—	△33	—	△31	—

(注) 包括利益 2022年1月期第1四半期 10百万円(—%) 2021年1月期第1四半期 △54百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年1月期第1四半期	1.98	—
2021年1月期第1四半期	△9.91	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年1月期第1四半期	29,832	10,313	34.6
2021年1月期	28,747	10,342	36.0

(参考) 自己資本 2022年1月期第1四半期 10,313百万円 2021年1月期 10,342百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年1月期	—	12.50	—	12.50	25.00
2022年1月期	—	—	—	—	—
2022年1月期(予想)	—	12.50	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年1月期の連結業績予想(2021年2月1日~2022年1月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,450	5.3	160	47.4	80	122.6	360	—	113.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2022年1月期1Q	3,200,000株	2021年1月期	3,200,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2022年1月期1Q	29,162株	2021年1月期	29,162株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2022年1月期1Q	3,170,838株	2021年1月期1Q	3,165,927株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループは、新型コロナウイルスの感染拡大が依然として収まらず、緊急事態宣言が再発令される等、先行き不透明な状況が継続いたしました。

そのような状況のなか、中期経営計画（2019年3月15日発表）で掲げた重点施策のひとつである「グループ会社を含めた抜本的な組織・人事戦略の改革」の一環として、持続的な成長を可能とする組織構造を確立するため、本年2月1日付で組織再編を行い、コロナ禍における事業間連携と効率化の推進に注力いたしました。

当第1四半期連結累計期間の成績は、売上高は1,347,288千円と前年同期に比べ167,177千円（14.2%）の増収となり、営業利益は26,520千円と前年同期に比べ42,358千円の増益、経常利益は10,144千円と前年同期に比べ43,681千円の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,283千円と、前年同期に比べ37,663千円の増益となりました。しかしながら、4月下旬の緊急事態宣言の再発令もあり、今後は一転厳しい状況が予想されます。

経営成績をセグメント別で見ると次のとおりであります。なお、組織再編による報告セグメントの区分方法の変更については「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記」の「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」をご参照ください。

#### (エンタメ・サービス事業)

映画事業におきましては、「シン・エヴァンゲリオン劇場版」「花束みたいな恋をした」「名探偵コナン 緋色の弾丸」等のヒット作品が生まれたものの、上映予定作品の公開延期、緊急事態宣言発令による時短営業や休業等、厳しい経営環境は継続しております。

このような状況のなか、当社映画館は業界団体のガイドラインや政府・自治体の方針を遵守し、安心・安全に映画を楽しんでいただける環境づくり並びに営業活動を行い、前年売上高を上回ることができました。

飲食事業及びアミューズメント事業におきましては、本年4月26日に開業いたしました神戸三宮阪急ビルの商業施設「EKIZO（エキゾ）神戸三宮」に、新業態のビアホール「BEER&GRILL コウベビアハウゼ」並びにアミューズメント施設「namco三宮OS」を出店いたしました。緊急事態宣言発令により休業することとなりました。また、昨年連結子会社解散に伴い引継ぎましたオムライス店舗（2店）につきましては、コロナ禍での数多くの制約のなか、細心の注意をもって営業に取り組みました。

以上の結果、売上高は534,923千円と前年同期に比べ187,294千円（53.9%）の増収となり、営業損失は68,707千円と前年同期に比べ52,746千円の改善となりました。

#### (不動産事業)

不動産賃貸事業におきましては、引き続き新型コロナウイルス対策を最優先としながら、テナントの事業継続に配慮した結果、当第1四半期連結累計期間末における直接保有ビルの稼働率は99.0%と高稼働を維持いたしました。賃料収入やビル管理収入は減収となりました。OSビルにおける一部主要テナント退店予定区画及び和歌山県白浜町のリゾートサテライトオフィスビル「ANCHOR」につきましては、新規テナントの誘致に努めてまいりました。

不動産販売事業におきましては、分譲住宅「ハピアガーデン宝梅一丁目（共同事業）」（宝塚市）は全戸完売となりました。分譲マンション「ブレイジア住之江公園エアパレス」（大阪市住之江区）及び「ローレルスクエアOSAKA LINK」（大阪市東淀川区）につきましても、共同事業者とともに販売活動を本格化させました。

以上の結果、売上高は812,365千円と前年同期に比べ20,116千円（2.4%）の減収となり、営業利益は273,691千円と前年同期に比べ19,253千円の減益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、前連結会計年度末と比較して総資産は1,085,939千円の増加となりました。これは主に現金及び預金876,979千円、販売用不動産172,369千円の増加によるものであります。

負債につきましては1,114,957千円の増加となりました。これは長期借入金1,800,930千円の減少がありましたが、主に短期借入金3,024,720千円の増加によるものであります。

純資産につきましては29,018千円の減少となりました。これは主に利益剰余金33,351千円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年1月期の連結業績予想につきましては、2021年3月17日の決算短信で発表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,643,771	2,520,750
売掛金	244,706	217,074
販売用不動産	1,920,931	2,093,301
商品	10,585	12,424
貯蔵品	1,786	2,353
前払費用	89,994	128,187
その他	76,330	73,442
貸倒引当金	△5,250	△5,250
流動資産合計	3,982,856	5,042,284
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,177,468	19,370,311
減価償却累計額	△11,293,308	△11,411,031
建物及び構築物(純額)	7,884,159	7,959,280
機械装置及び運搬具	285,056	285,056
減価償却累計額	△195,668	△200,525
機械装置及び運搬具(純額)	89,387	84,530
工具、器具及び備品	724,885	780,143
減価償却累計額	△618,355	△628,777
工具、器具及び備品(純額)	106,529	151,366
土地	12,947,131	12,947,131
信託建物	597,634	597,634
減価償却累計額	△216,002	△225,527
信託建物(純額)	381,631	372,106
信託土地	1,812,608	1,812,608
建設仮勘定	129,472	43,298
有形固定資産合計	23,350,919	23,370,320
無形固定資産		
ソフトウェア	102,388	96,141
ソフトウェア仮勘定	25,314	25,314
その他	1,895	1,853
無形固定資産合計	129,598	123,309
投資その他の資産		
投資有価証券	325,407	331,606
長期前払費用	107,246	91,490
差入保証金	571,456	646,444
建設協力金	208,876	197,487
繰延税金資産	20,977	21,581
その他	49,665	8,420
投資その他の資産合計	1,283,630	1,297,031
固定資産合計	24,764,149	24,790,661
資産合計	28,747,005	29,832,945

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	138,457	157,651
短期借入金	2,810,150	5,834,870
未払金	52,081	19,661
未払費用	202,275	179,096
未払法人税等	59,479	18,453
未払消費税等	66,990	21,133
賞与引当金	24,962	56,053
その他	647,826	629,952
流動負債合計	4,002,223	6,916,872
固定負債		
長期借入金	9,923,420	8,122,490
長期預り保証金	1,528,135	1,532,943
繰延税金負債	865,751	854,699
再評価に係る繰延税金負債	1,674,048	1,674,048
退職給付に係る負債	410,789	418,271
固定負債合計	14,402,143	12,602,452
負債合計	18,404,367	19,519,324
純資産の部		
株主資本		
資本金	800,000	800,000
資本剰余金	66,506	66,506
利益剰余金	6,661,862	6,628,510
自己株式	△91,035	△91,035
株主資本合計	7,437,332	7,403,980
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	113,542	117,876
土地再評価差額金	2,791,763	2,791,763
その他の包括利益累計額合計	2,905,305	2,909,639
純資産合計	10,342,638	10,313,620
負債純資産合計	28,747,005	29,832,945

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年2月1日 至2020年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年2月1日 至2021年4月30日)
売上高	1,180,111	1,347,288
売上原価	978,646	1,125,360
売上総利益	201,464	221,928
一般管理費	217,302	195,407
営業利益又は営業損失(△)	△15,837	26,520
営業外収益		
受取利息	1,745	1,526
受取給付金等	-	3,432
その他	1,436	581
営業外収益合計	3,182	5,540
営業外費用		
支払利息	19,243	20,054
その他	1,638	1,862
営業外費用合計	20,881	21,916
経常利益又は経常損失(△)	△33,537	10,144
特別利益		
補助金収入	2,000	-
特別利益合計	2,000	-
特別損失		
固定資産圧縮損	2,000	-
固定資産除却損	0	-
特別損失合計	2,000	-
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△33,537	10,144
法人税、住民税及び事業税	1,358	17,427
法人税等調整額	△3,515	△13,566
法人税等合計	△2,157	3,860
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△31,380	6,283
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△31,380	6,283



四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△31,380	6,283
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,038	4,333
その他の包括利益合計	△23,038	4,333
四半期包括利益	△54,418	10,617
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△54,418	10,617
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染拡大による影響の収束時期等を含む仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はございません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	エンタメ・サービス事業	不動産事業	計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への 売上高	347,629	832,481	1,180,111	—	1,180,111
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	5,877	5,877	△5,877	—
計	347,629	838,359	1,185,988	△5,877	1,180,111
セグメント利益又は 損失(△)	△121,454	292,945	171,490	△187,328	△15,837

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△187,328千円には、セグメント間取引消去△862千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△186,466千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年2月1日 至 2021年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	エンタメ・サービス事業	不動産事業	計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への 売上高	534,923	812,365	1,347,288	—	1,347,288
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	12,057	12,057	△12,057	—
計	534,923	824,423	1,359,346	△12,057	1,347,288
セグメント利益又は 損失(△)	△68,707	273,691	204,983	△178,463	26,520

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△178,463千円には、セグメント間取引消去△5,689千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△172,774千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

当第1四半期連結会計期間より、組織再編に伴い、従来「映画事業」「飲食事業」「その他事業」としていた各報告セグメントを統合し「エンタメ・サービス事業」に、「不動産賃貸・販売事業」としていた報告セグメントの名称を「不動産事業」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。